

池田町広津地区での活動報告

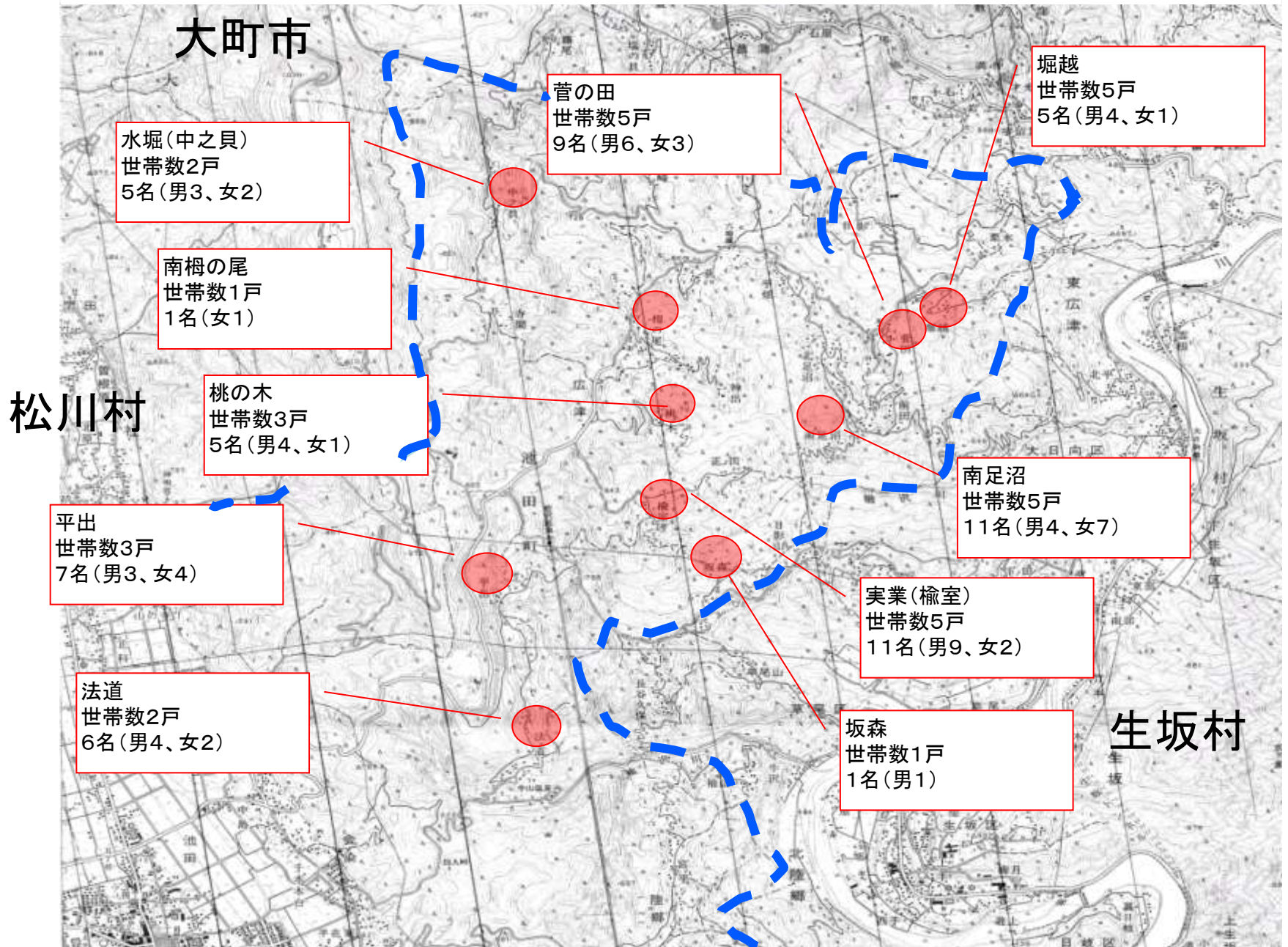
池田町広津地区での被害経過

- ・平成17年度から大町市の三日町群（二ホンザル群）が侵入
- ・平成20年度からイノシシ、シカ、ハクビシンの被害も深刻になり、対策が複雑化
- ・過疎化及び高齢化が進んだ小さな集落が点在し、集落での鳥獣対策に苦慮



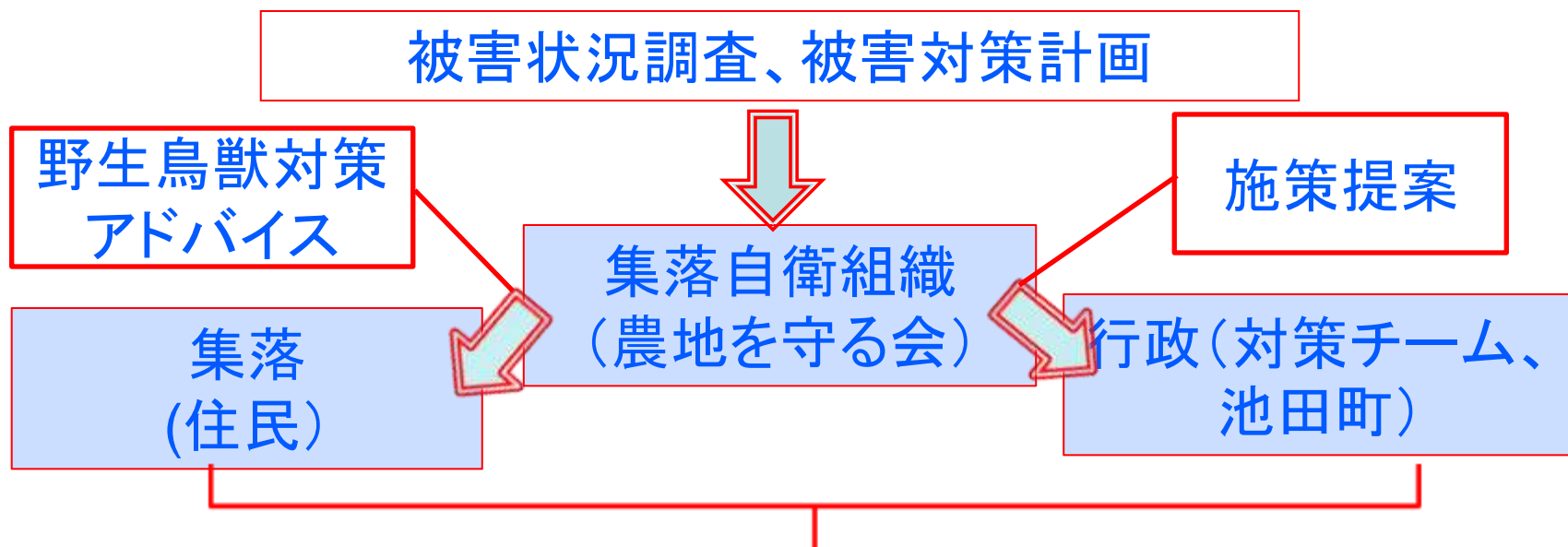
中山山地の農地を守る会（H21,1,1設立）
広津地区の小集落の有志を主な構成員とする「集落自衛組織」

広津地区のニホンザル被害集落



野生鳥獣対策チームの関り

集落自衛組織の活動等及び体制の構築

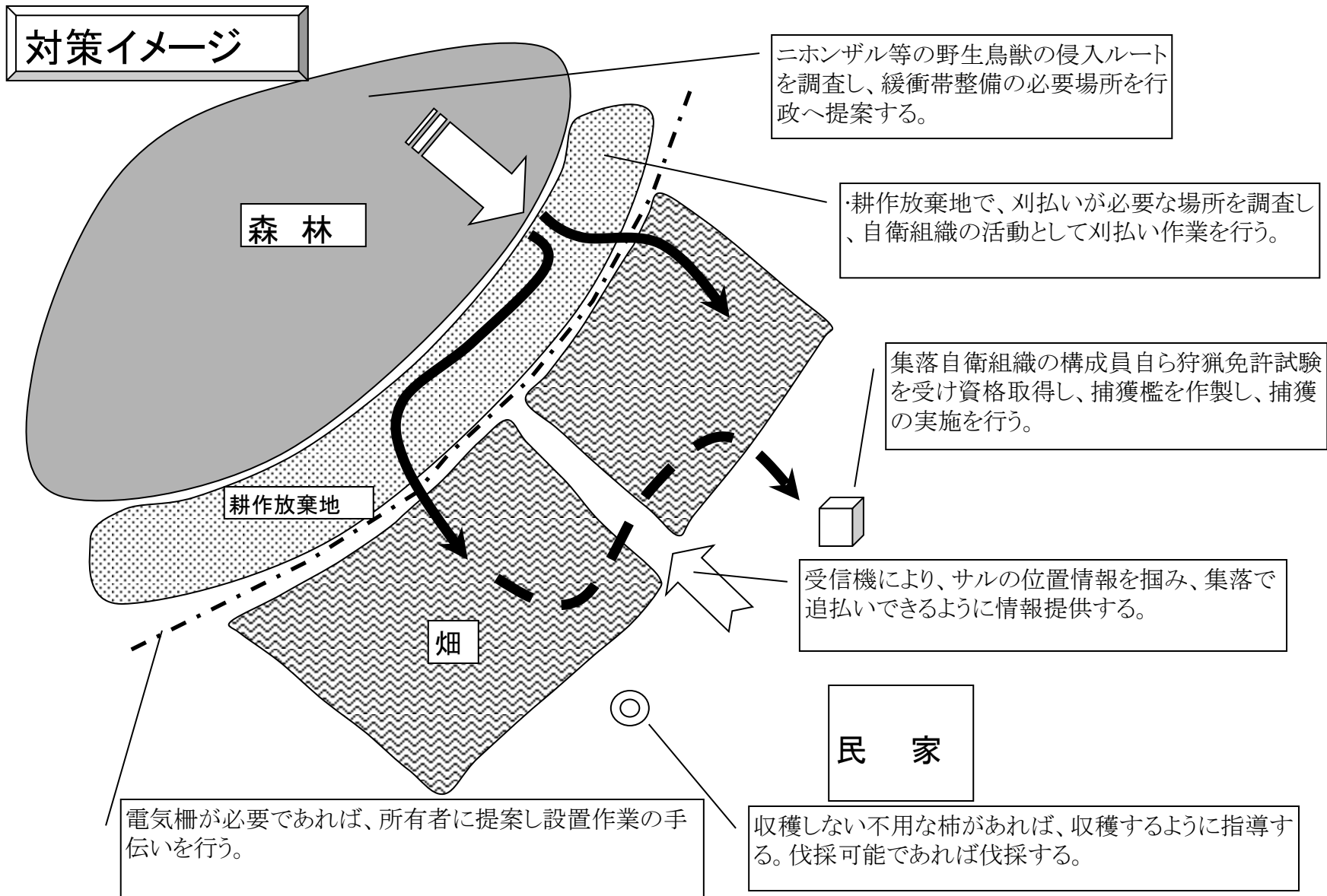


捕獲対策、被害防除対策、生息環境対策を集落自衛組織が中心となり計画し協働実施

対策チームは新たな対策の助言、指導

集落自衛組織による野生鳥獣対策

対策イメージ



捕獲対策について

- ① 集落自衛組織の構成員が狩猟免許取得し
猟友会へ加入し捕獲を推進（現在5名）
- ② 先進地視察等によりサル捕獲檻を作製
上伊那地区猟友会にくくり罠設置方法を学び
効果的に捕獲を実施
- ③ サル捕獲檻での中型獣捕獲が増え、銃による
止め刺しが出来ないため、炭酸ガスによる
安楽死を実施

先進地視察(木祖村)



小型檻製作



- ・狩猟免許を取得し捕獲を実施
- ・サル捕獲檻31作製





捕獲実績

単位：頭

年度	H20	H21	H22(1月現在)
ニホンザル	31	6	10
ハクビシン	3	10	7
アナグマ	3	7	9

くくり罫設置方法を学ぶ 「H21辰野射撃場」

- ・足場を決めたら動かない
- ・けもの道は踏まない



けもの道

- ・上の土は大切に取っておく
- ・下の土は袋に入れて別場所に捨てる



- ・セットしたら大切に取っておいた上の土をトラップに被せる
- ・真中を凹ませてセット

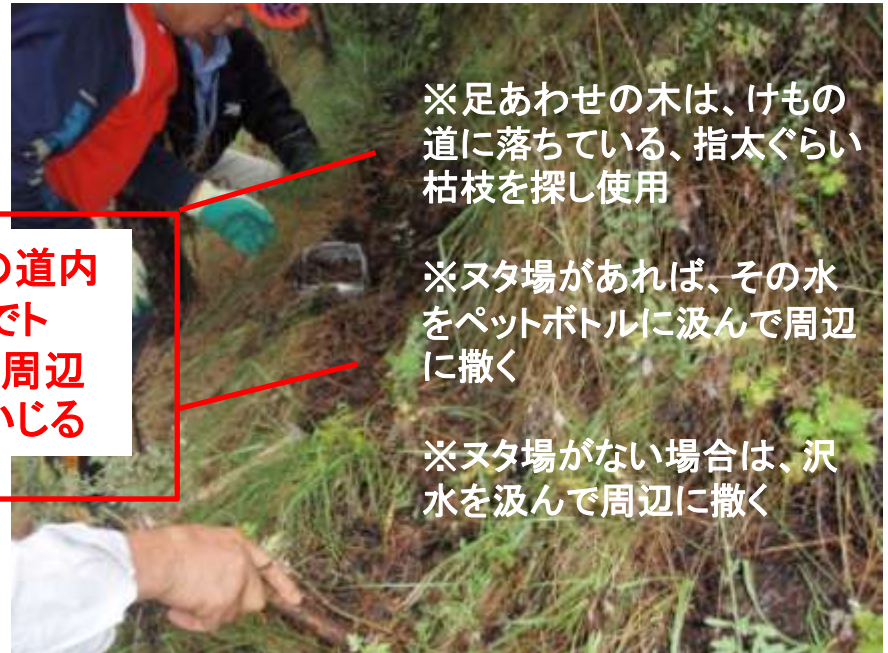


けもの道内の枝でトラップ周辺部をいじる

※足あわせの木は、けもの道に落ちている、指太ぐらい枯枝を探し使用

※ヌタ場があれば、その水をペットボトルに汲んで周辺に撒く

※ヌタ場がない場合は、沢水を汲んで周辺に撒く



池田町広津地区のくくり罠捕獲



H21 イノシシ15頭

H22(1月現在) イノシシ9頭

安楽死の実施について「H22から実施



- 捕獲檻の扉を加工し、麻袋を装着できる構造とした。
- 捕獲された鳥獣を麻袋へ誘導する(簡単にできる。)
- 上記写真は、ハクビシン



麻袋のまま入れる



炭酸ガス20分間充填



麻袋のまま運搬



処分場に埋設

被害防除対策について 「サル追払い」

- ① サル発信機の電波を受信機で毎日巡視し「信州里山ネット」ホームページにより集落へ情報提供し追払い体制を整備
- ② それぞれの集落では、防災行政無線の屋外スピーカーで住民に情報伝達
- ③ 各集落に受信機及び追払い道具を無償配布し集落での追払い実施
- ④ モンキードッグによる追払い実施(4頭)

発信機装着「H20」



バンドの長さを調整し設置



発信機

目薬を点滴しないと、麻酔が覚めたとき視界不良になる



受信機によるサル巡視「H20」



ホームページで出没情報公開

集落単位「H22」



防災無線の屋外スピーカーにより
住民への情報伝達

サル SOS 情報閲覧方法

① モバイル版 TOP ページ



<http://www.shinsyu-satoyama.net/>



上記 QR コードを読み込み
信州里山.net モバイル版 TOP ページにアクセスします。

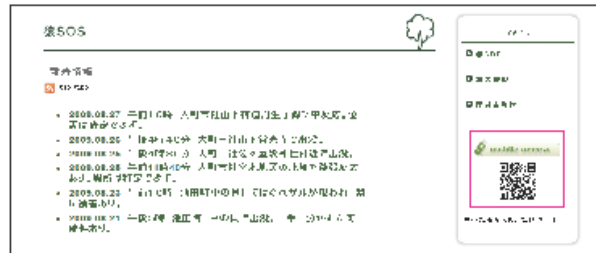


② サル SOS 情報表示ページ



TOP ページのサル情報をクリックしていただくと
最新のサル情報が表示され、「時間・位置」等の
情報を確認することができます。

■信州里山.net PC ページからもアクセスできます。



集落の追払い体制整備「H21」



受信機操作方法説明



集落に受信機及び花火等を配布し
追払い体制を整える



モンキードッグによる
追払い

被害防除対策について 「侵入防止柵」

侵入防止柵の効果を検証し普及させる活動を実施

- ① H20にサル、イノシシを対象とした電気柵を設置し研修会形式で広く普及啓発
- ② H21にイノシシを対象とした電気柵を実証試験として設置し効果をPR
- ③ H22は、町単の電気柵補助制度導入に併せて、農業祭にて補助制度と電気柵のPR
ふれあい農園へ電気柵設置

H2O侵入防止柵普及活動

クマ対策員指導のもと施工



完成



研修会で普及啓発

H21普及活動



イノシシを対象とした電気柵を実証試験として実施

春先に設置し、通年での効果をPR



H22普及活動



池田町農業祭で電気柵P
Rと補助金制度説明

ふれあい農園の電気柵を
施工(都市農村交流)



生活環境対策について

野生鳥獣が嫌がる環境づくりを目指す

- ① 現地調査（耕作放棄地や収穫見込みのない柿）
- ② 住民への指導（残渣処理、承諾・・・）
- ③ 耕作放棄地の整備、収穫見込みのない柿収穫を実施



**現地調査及び
住民へ野生鳥獣対策のアドバイスの実施**

H21取組み
(法道集落)

収穫見込みのない柿収穫作業






H21取組み町道脇
竹藪刈払い及び枝
払い作業

H21取組み耕作放
棄地刈払い作業





H22取組み
(楡室集落)

H22取組み耕作放棄地刈払い作業



H22取組み藪の刈払い作業

これからの課題

- ・**狩猟免許資格者を増やす**。特に**第一種狩猟免許取得者増**を目指し、**捕獲対策の充実**を図る
- ・**郵便局や運送業者等との連携**し、**サル等の目撃情報**を収集し、**追払い対策**に役立てる
- ・**電気柵設置の促進**と**効果的な設置方法の指導**
- ・**協働圃場**を設け、**電気柵**など**野生鳥獣対策**を**集中的に行う**「**集落営農を推進**」して行く。

愛知県の企業(東海ゴム)が社員の福利厚生 生活動として農業体験で交流 『都市交流での観光分野への挑戦』

